



平成 30 年 2 月 2 日

各 位

東京都目黒区大橋一丁目 5 番 1 号
株式会社 カイカ
代表取締役社長 鈴木 伸
(JASDAQ: 2315)
問合せ先:
代表取締役専務 山口 健治
Tel 03-5657-3000 (代表)

(開示事項の経過) 株式会社テリロジーとの資本業務提携に関するお知らせ

当社は、平成29年1月17日付「株式会社テリロジーとのブロックチェーン技術を応用した商品の共同開発にかかる業務提携に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、株式会社テリロジー（以下、「テリロジー」といいます。）と業務提携を行っておりますが、本日開催の取締役会において、テリロジーとの間で資本業務提携を行うことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお当社は、平成30年1月26日付でテリロジーの株式の一部を取得しております。

記

1. 資本業務提携の理由

テリロジーは、平成元年の創業以来、欧米諸国において開発された IP ネットワークに関わる製品をはじめ、最先端のネットワークセキュリティ分野の製品およびソリューションを国内大手企業に提供してまいりました。

近年では、自社開発を促進し、通信ネットワークを流れるパケットを高速でキャプチャし、保存およびその復元を可能としたパケットキャプチャ商品「momentum」の開発・提供をはじめ、ステルスネットワーク化を実現することで、ハッカーからの不正なアクセスや情報漏えいを防ぐスイッチ製品

「Tempered Networks 社 HIP スイッチ」の販売および、ダークウェブでやり取りされるハッカーのコミュニティをモニタリングし、企業にとって脅威となる情報を検知・収集し、分析結果を提供するコンサルティングサービス「KELA 社スレットインテリジェンスサービス」など、ネットワークゲートウェイからエンドポイントまでをカバーするセキュリティマネジメントサービスを展開しております。

一方、当社は、40年以上にわたり金融業をはじめ製造・公共・流通等のシステム開発の実績を有しており、現在、フィンテック関連ビジネスを戦略的注力領域に掲げ、特にブロックチェーン技術と AI に注目し、様々な取り組みをおこなっております。

現在、当社の顧客の多くは、大手システムインテグレーターが中心であります。今後は、大手システムインテグレーターとの取引の拡大と同時に、エンドユーザー企業との取引を拡大することを目指しております。

当社とテリロジーは、平成 29 年 1 月に業務提携契約し、ブロックチェーン技術を活用した、より高度なセキュリティ製品の共同開発および両社の顧客への提案活動の面で主に提携してまいりました。この結果、当社は、不正侵入防御システムの導入支援の案件を受注するなど、テリロジーが取り扱うハードウェア製品を使用したセキュリティ関連のシステム開発を手掛けるなど実績を積み上げております。

また先般、外部からの不正アクセスにより大手仮想通貨取引所から多額の仮想通貨が流出した事件がありました。これを受け、仮想通貨関連ビジネスにおいては、これまで以上にセキュリティ面の強化が叫ばれております。

こうした状況下、当社はテリロジーとの提携をより強固なものとするべく、テリロジーの株式の一部を取得したことで、新たに資本業務提携契約を締結するとともに、業務提携契約の一部見直しを行うことで、これまでに培った信頼関係を継続することといたしました。

2. 資本業務提携の内容等

(1) 業務提携の一部見直し

これまで当社とテリロジーは、テリロジーの momentum (ネットワーク管理用パッケージ製品) のソフトウェア開発を推進するため、momentum 開発の事業化や、RedSeal (ネットワークセキュリティ監査用パッケージ製品) などの開発およびサービス化に向けた協議を進めるほか、テリロジーが持つセキュリティサポート部隊である「コンサルティング&ソリューション技術部」と、当社が持つ基盤チームとの合同体制を両社営業シナジーにより、基盤技術から業務レイヤーまでワンストップで顧客に提供することの可能性の追求を進めております。

しかしながら、両社を取り巻く事業環境は、不正アクセスによるウェブサービスからの個人情報の窃取やサービス妨害攻撃によるサービスの停止、インターネットバンキングの不正送金の被害など、企業などを狙ったサイバー攻撃が猛威を振るっております。

このように状況を背景として、両社では、テリロジーのネットワーク不正侵入防御システムや標的型攻撃対策製品をはじめ、ワンタイムパスワードによる不正取引防止システムおよびその知見と、当社が持つ開発技術および仮想通貨に関する知見を活用し、より高度なセキュリティ対策を実現する仮想通貨関連のセキュリティ商品の共同開発を行っていくことに合意いたしました。

(2) 資本提携の内容

当社は平成 30 年 1 月 26 日付で現金を対価としてテリロジーの発行済普通株式 753,700 株、4.9% (議決権比率) を市場外の相対取引により取得しております。

3. 資本業務提携の相手先の概要

(1) 名称	株式会社テリロジー	
(2) 所在地	東京都千代田区九段北一丁目 13 番 5 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 阿部 昭彦	
(4) 事業の内容	①海外ハードウェア、ソフトウェア製品の輸入販売 ②ネットワーク関連製品の販売 ③エンドユーザへのシステムコンサルティングと構築・教育 ④ネットワーク構築・工事 (建設業許可書取得) ⑤ネットワーク関連製品の保守サービス ⑥アプリケーションソフトウェアの開発	
(5) 資本金	1,182 百万円 (平成 29 年 9 月 30 日現在)	
(6) 設立年月日	平成元年 7 月 14 日	
(7) 大株主および持株比率	津吹 憲男 15.70% 株式会社ネクスグループ 14.62%	
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社は当該会社の株式を 4.9% (議決権比率) 保有しております。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社は当該会社よりハードウェア製品を仕入

		れております。
	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。

(9) 最近3年間の経営成績および財政状態 (単位:百万円)

決算期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期
純資産	723	699	637
総資産	3,052	2,455	2,439
1株当たり純資産(円)	47.03	45.47	41.43
売上高	2,804	2,639	2,434
営業利益	△212	26	△105
経常利益	△207	△0	△97
当期純利益	△211	△19	△99
1株当たり当期純利益(円)	△13.76	△1.25	△6.46
1株当たり配当金(円)	0	0	0

4. 日程

(1) 取締役会決議日	平成30年2月2日
(2) 資本業務提携契約締結日	平成30年2月2日

5. 今後の見通し

本件が当社の平成30年10月期連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、中長期的には、当社の連結業績の向上に資するものと考えております。

以 上